

2022年 国体少年女子化に向けて

資料作成者

(一社)和歌山県サッカー協会

女子サッカー普及コーディネーター 野口 勇太

国体少年女子化について(まとめ)

<基本情報>

- ・2022年(第77回栃木大会)より開始(以降毎年開催)
 - ・2021年より関西トレセンリーグ実施(予定)
 - ・カテゴリー:U-16(中3~高2の早生まれ)
 - ・招集可能対象:
 - ①現住所が和歌山県内にある。
 - ②通っている学校の所在地が和歌山県内である。
- ※「ふるさと選手」の制度は使えない。

国体少年女子化に向けて①

<ターゲットエイジ>

①高2の早生まれ→現中2の早生まれ

②高1→現中1

③中3→現小6

↓しかし現状は・・・(県内で活動している選手)

現中2の早生まれ(3名程度)

現中1で県内で競技を続けている者(3名程度)

国体少年女子化に向けて②

★現小6がチームの中心を担うことになる！！

＜現小6国体出場のチャンス＞

①4～12月生まれ(国体少年女子代表として2年出場のチャンス！)

②早生まれ(国体少年女子代表として3年出場のチャンス！)

★高2以上(早生まれの場合は高3以上)の選手は、隔年開催の成年女子代表としてその後も出場するチャンスがあります。

近年の和歌山県女子サッカーの現状（結果）

U-14関西トレセン対抗戦

2017年度：2勝1分2敗 総合順位4位（3位とは同勝ち点で直接対戦も引き分け）

※ほぼ和歌山県内の当時の中1～中2全員が集まり、オールメンバーで闘った。

2018年度：0勝0分5敗 総合順位6位

※和歌山県内の当時の中1～中2が集まらず、中3や小6を招集して出場。

人数もギリギリで5試合を闘った。

ガールズエイト（2018年度より6年生のみ対象の大会）

和歌山：6年生が8名しか集まらず、5年生を追加招集して出場。

近年の和歌山県女子サッカーの現状（結果）より

<結果から分かること>

県内で活動している女子選手が全員集まって力を発揮できれば、
関西の強豪相手でも十分に闘える力を持っている！！

しかし・・・

女子の活動への参加が全体的に消極的・・・

チーム和歌山の一員として、仲間と一緒に和歌山県の女子サッカーを盛り上げていこう！！

国体少年女子化に向けて(今後の展望①)

<チーム和歌山>

和歌山県内でサッカーを頑張っている女の子が1つのチーム・仲間！

→和歌山で女子サッカーを 文化に！・下の年代へ継承！・伝統化へ！

国体少年女子代表の活躍

→県内でサッカーをやっている女の子、これからサッカーを始めたいと思っている女の子に

①夢(私もあんなりたい！)

②希望(私もあんなれるかも・・・)

③勇気(私もあんなふう挑戦してみよう！) を与えられる！

国体少年女子化に向けて(今後の展望②)

そのために・・・

もっとチーム(仲間)意識を高め、早い段階から“チーム和歌山”として活動する！



<要望>

- ①できる限り女子トレセン活動への参加を！
- ②トレセンで参加する女子の大会に招集された場合はできるだけ優先して参加を！
- ③ガールズサッカーフエスティバルなど、女子だけで活動する場にも積極的な参加を！

国体少年女子化に向けて(今後の展望③)

<和歌山県協会としての動き>

- ①アカデミーの創設(現在創設に向けて動き始めている)
- ②トレセンのカテゴリーをU-15→U-18(2020年にはU-16に)

<普及コーディネーターとして今後取り組みたいこと>

- ①ガールズサッカーフェスティバルの開催回数を増やし、競技人口の拡大へ
- ②フェスティバル→スクール活動→チーム登録への橋渡し
- ③紀南に中学生のみのチームを新たに立ち上げる(中学生でも続けられる環境作り)
- ④県内高校の強化(高校生になっても県内で続けられる環境作り及び国体強化)

一緒に和歌山県女子サッカーの歴史をぬりかえよう！！